



NETIS NO. KT-160047-A
ISO 9001 : 2015 & JISQ9001 : 2015 NO. QA165292

THERMBLOCK

ECOTHERMAL WATER-BASED INSULATION PAINT

TBMH

THERMBLOCK VESTA HOLDINGS

サーモブロック施工要領書

サーモブロック・ヴェスタホールディングス株式会社

サーモブロック施工要領書

サーモブロック商品構成



下塗り	サーモベース MまたはU	15kg	0.1~0.2kg/m ²	一液水性、アクリル樹脂プライマー コンクリート下地面強化、サーモブロック 水分の塗装下地への吸込み防止
主 材	サーモブロック	11kg	0.35kg/m ²	一液水性、アクリル樹脂塗料 断熱・保湿機能を有する断熱塗料
仕 上	サーモトップ S	15kg	0.1kg/m ²	一液水性、シリコンアクリル樹脂クリア コート 壁等、雨水による汚れ軽減。半艶仕上げ となります。重歩行対応可能。

◆ 素地調整(地調整) ← 下地調整が重要です。



- ・汚れや浮き、油膜等が有る場合・・・エアブロー、高圧水洗浄を行い、良く乾燥させます。
- ・錆の発生がある場合・・・各種ケレンを行い、劣化した塗膜を除去、清掃を行い錆止め塗装(エポキシ樹脂塗料等)を行ってください。

➤ 下塗材施工(サーモベース MまたはU) 撥水性の無い材料なら何でもOK

吸水性のある塗装下地(RC、ALC、ブロック、サイディング、カラーベウト・コロニアル等)の場合使用ください。

塗布方法:刷毛、ローラー、吹付け

塗布回数:1回 Mは希釈無し、Uは下地状況により2倍希釈までOK。

養生目安時間:夏季2時間 春秋季3時間 冬季4時間

錆の無い鉄板や吸水性の無い塗装下地の場合、サーモブロック主材を直接塗布しても十分な付着力が得られます。ただし錆止め効果はありませんので注意してください。

万能タイププライマーとしてM、吸込み量が多いプライマーとしてUタイプを用意しております。

➤ 主材施工(サーモブロック)

すぐ塗装できる塗料に調整してありますが、比重の軽い中空ビーズが上部に浮いていますので、よく攪拌して使用してください。サーモブロックは軽歩行対応商品です。また水没部には使用しないでください。



必ず電動攪拌機にて塗料の上部、下部が良く混ざるように攪拌するのがポイントです。(3~5分程度)

棒では絶対混ぜりません。

カラーベース(顔料)で色付けする場合は5分位掛ります

断熱効果の均一性と寿命を長持ちさせる大事な作業です。



攪拌機はこのタイプの物が最良です

◆ 希釈量

・この塗料は水系塗料です。過度の希釈は成膜不良を起こしますので注意してください。

刷毛・ローラー
0～300cc(1缶あたり)

・1回目塗装時希釈を多めに
して(伸びが良くなる)、2回目
塗装時希釈を少なくすること
もコツです。

エアレスガン吹き
800cc(1缶あたり)
希釈して施工してください。

・希釈の目安 1回目塗装時 300cc～800cc/缶
2回目塗装時 0～300cc/缶

注意！

水性塗料は溶媒の水分がきれいに蒸発し、良質な塗膜が形成されます。サーモブロックは特に膜厚が厚いので、塗装後は十分な乾燥が必要です。十分な乾燥が無いまま塗装上面が水没すると、成膜不良が生じます。降雨時、特に梅雨時、雨期の塗装は十分な注意と管理が必要です。塗装面が水没しないよう管理をお願いします。表面が乾燥しておれば水没しなければ、流れるだけなら大丈夫です。

- ・高粘度対応のエアレスポンプで使用するチップ口径0.4～1.0mmものを推奨します。
- ・フィルターは網目の粗いもの、または無しで使用ください。
- ・リシガンは、塗料に一缶柄杓を付けて持って回らなくてはなりません、エアレスに慣れない内は有効です。
- ・塗装機器の選定には塗装機器メーカーと良く確認して適正な機器を選定してください。

◆ ご注意

一度に厚塗りしますと亀裂の恐れがあります。
塗装作業は必ず2回以上に分けてください。
塗膜が厚いほど防音性、断熱性、保温性を
発揮します。

鉄板やボード等の塗布面が滑りやすい箇所にローラー施工する場合は1回目はローラー、刷毛が滑って膜厚が付きません。2～3回塗りを心掛けてください。

注1: 上水を足しても30㎡/缶以上塗布しないでください。

注2: 塗布量には工事ロス分を含んでおりません。

◆ 乾燥時間

環境によって乾燥状態は異なりますので塗装面が乾いてから上塗り作業に移ってください。

	夏季	春秋季	冬季
	30～60分	60～90分	120～180分
完全乾燥	2時間	3～4時間	5～6時間

指触検査にて指への付着が無いことを確認して上塗りしてください。

▶ **仕上げ(サーモトップS)施工** 夕刻の塗布は避けてください。(塗膜不良になる可能性)

直接雨が当たる屋根、屋上等はサーモブロック主材のみの仕上げでも、そう汚れることは有りませんが、庇の無い建物の外壁等、汚れやすい場所に塗装することにより汚れが軽減されます。主材が充分乾燥後に塗布してください。未乾燥の上に塗布すると膨れが発生します。また、Hタイプは重歩行(歩道・駐車場・運動場)にも使用可能です。

- ・塗布方法:刷毛、ローラー、吹付け
- ・塗布回数:1~2回(水の希釈量:0~10%)
- ・養生時間:3時間



正常な塗膜



塗膜不良

- ・表面に細かいクラックが発生。
- ・乾燥後に表面が白化することも有ります。

◆ **水系塗料(取扱い、施工上の注意)**

- ・基本塗装要領、温湿度条件、道工具類の洗浄は一般水性塗料と同じです。
- ・水系塗材ですので、気温5℃以上、湿度80%以下の環境で施工してください。
- ・雨天、強風、多湿の日を避け、天気の良い日を選んで塗装してください。
- ・冬期の場合、凍結による塗膜の硬化不良等が心配されるので、日没までに塗装が乾燥するよう、作業工程を調整してください。また、気温が低い時、下地が冷えている時は成膜不良が生じます。日没前の塗装作業は絶対に行わないようお願いします。
- ・施工に関する不明点は販売店にお問い合わせください。
- ・品質・性能確保のため、製造後12ヶ月以内に使い切ってください。
- ・塗装作業中も含め、日光の直射を避け、涼しい所で保管してください。(40℃以下+1℃以上)
- ・1缶を使い切る前に作業を中断する場合は、ビニールで塗材の表面を密着させてしっかり覆ってふたをしてください。
- ・缶の側面や蓋側の膜、乾いた塗料と一緒に混ぜないでください。
- ・サーモブロックは艶消し仕上げとなります。サーモトップSは半艶仕上げになります。

◆ 安全

取扱い中は、皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護めがね、保護マスクを着用してください。また、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。

- ・缶を破棄する際は、中身を使い切って産業廃棄物として認可業者に処理を委託してください。
- ・塗装器具の清掃などに使用した白濁した水は、下水、河川等に流さないようにしてください。

製造元:サーモブロック・ヴェスタホールディングス株式会社
埼玉県さいたま市岩槻区太田3-7-26
TEL:048-456-6570

TBMH
THERMBLOCK VESTA HOLDINGS